



鳥と果実 1991年 油彩・キャンバス

# 鳥の詩 脇田和展

むかえる鳥、おくる鳥。

2022年6月25日(土)～11月21日(月)

開館時間 午前10時～午後5時(7月1日～9月15日までは午後6時/入館は閉館30分前まで)  
主催 一般財団法人脇田美術館 ※会期中無休(展示替え・イベント等の臨時休館日を除く)  
観覧料 一般1,000円(900円)大高生600円(500円)中学生以下無料  
※()内は20名様以上の団体料金です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。

※本チラシをご持参いただくと2名様まで100円引きにて入館いただけます。

脇田美術館  
WAKITA MUSEUM OF ART

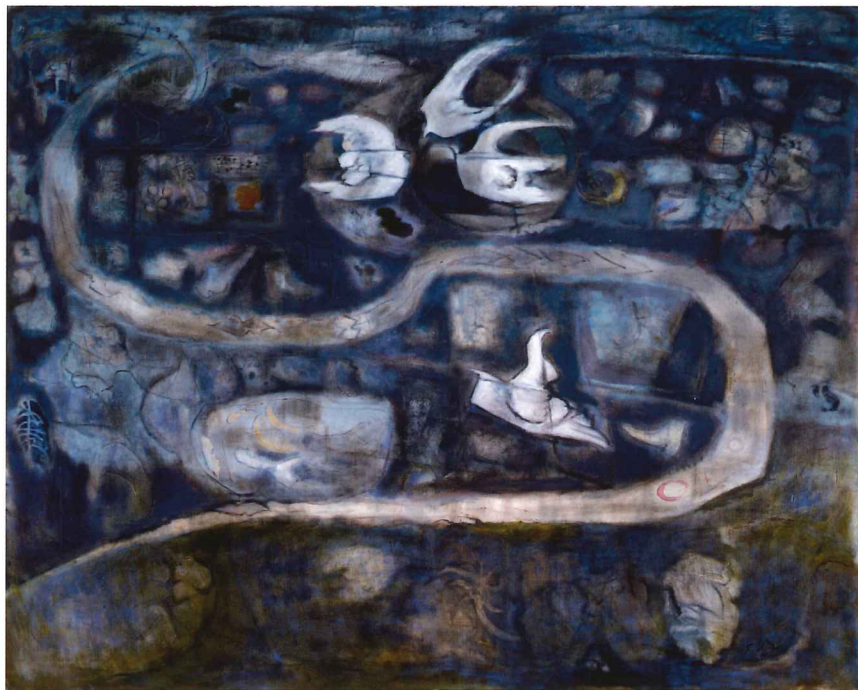
wakita-museum.com

# 鳥の詩 脇田和展

むかえる鳥、おくる鳥。

大空を凝眺し郡鳥の渡る一瞬を楽しんだ、少年の頃の記憶

幼少期を過ごした脇田の東京の家は、狸や貉のいる森林を背後に、大きな池が広がる自然の庭があった。「河骨の黄色い花の咲く池に、かいつぶり、鴨の群も鷺も、時には鶴の姿も記憶する、この頃の遊びは、この池を中心に、釣りか、藪くぐりに明け暮れていた」と、脇田は懐古している。絵を好むようになってからは、家の屋根に上がって人目の届かぬ処で一人大空を凝眺し郡鳥の渡る一瞬を楽しむような少年であったという。



鳥の来る道 1986年 油彩・キャンバス

「私の脳裏にはこの時代の記憶が大きく占め、心の奥底から泡のように湧きでて絵のうちに溶け込むものが、今もって尽きない。鳥の存在に目を向けて来たのは、この頃からか、いつとはなく鳥は私の絵の主軸になっている。

今は軽井沢に仕事を移した。ここは野鳥の宝庫といわれる。

朝に夕に、鳥の群れが庭に飛来する。私はこの環境を満喫している。

ここでの生活は少年の頃の思い出に繋がり、鳥と私の関係はいよいよ複雑多忙になるばかりである。鳥との縁は終生切れないのではないだろうか。」 (1975年記)



鳳凰 1993年 油彩・キャンバス



鳥と僕 1978年 油彩・キャンバス

脇田和は、小磯良平や猪熊弦一郎とともに新制作派協会を創立し、戦後は日米美術交流プログラムにも積極的に参加し、国内外で活動を続けていきました。身の周りの日常に注がれる温かなまなざしはいつも変わらず、さまざまな素材や技法への好奇心や、色と色が織りなす滑らかなリズムと美しさへの追求を、筆を置くその日まで止めることはありませんでした。

本展では、脇田和が旧軽井沢に制作の居を移した1970年代から晩年までの作品を中心に、油彩、素描、コラージュ作品など、約100余点を展示し紹介していきます。

その約80年に及ぶ画業の集積を美術館の空間の隅々で楽しむことができます。

## お知らせ

● 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から必要な対策を講じて開館いたします。ご来館の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。尚、今後の状況により、会期や開館時間、催事内容等に変更が生じる場合がございますので、当ウェブサイトやお電話にてご確認の上、ご来館いただきますようお願い申し上げます。

● 脇田和アトリエ山荘 (吉村順三設計 1970)は2021年2月に有形文化財に登録されました。



白鳥と黒鳥 2000-2001年 油彩・キャンバス

## 略歴

脇田和 KAZU WAKITA (1908-2005年)

1908(明治41)年東京生まれ。15歳の時ベルリンに渡り、17歳でベルリン国立美術学校に入学。1930(昭和5)年同校より金メダルを贈られ帰国。1932(昭和7)年太平洋画会初入選。以後、光風会、帝展などで受賞を重ねる。1936(昭和11)年猪熊弦一郎、小磯良平らと新制作派協会(現・新制作協会)を設立。戦後、1950年代にはサンパウロ・ビエンナーレ、ヴェネチア・ビエンナーレ等に出品。「あらい」が第1回グッゲンハイム国際美術賞に輝いた。1959~70年東京藝術大学で教鞭をとる。1970(昭和45)年、軽井沢に吉村順三設計によるアトリエ山荘が完成。1991(平成3)年「脇田美術館」を開設。1995(平成7)年~2012(平成24)年、東京・第一生命本社ビルに脇田和作品常設ギャラリー。2005(平成17)年11月27日永眠。1991(平成3)年旭日小綬章。1998(平成10)年文化功労者。2005(平成17)年従四位を追贈。

## アートプログラム

●「建築ワークショップ / アトリエ公開ウィーク」 秋開催(予定)

## 優待のご案内

- 賛助会員様への各種優待サービスがございます。詳しくはホームページをご覧ください。
- 石川県立美術館にて開催の展覧会・有料観覧券の半券のご提示で、会期中に限り、ミュージアムショップ&カフェにて優待サービスがご利用いただけます。

## ミュージアムショップ&カフェ

オリジナルグッズを扱うミュージアムショップ、ティールームを併設しています。四季折々の軽井沢の豊かな自然を感じながら、ティータイムをお楽しみください。  
※一部商品はホームページからご購入いただけます。



脇田和アトリエ山荘(1970)登録有形文化財



Photo : Shinkenchiku-sha

## アクセス

■ JR・しなの鉄道:  
軽井沢駅北口より徒歩10分。  
車: 上信越道・碓氷軽井沢ICより  
国道18号線を 旧軽井沢方面へ入る。

一般財団法人脇田美術館  
〒389-0102 長野県軽井沢町旧道1570-4  
TEL:0267-42-2639 FAX:0267-42-0071  
karuizawa@wakita-museum.com  
wmoa@wakita-museum.com

## 最新情報

www.wakita-museum.com

